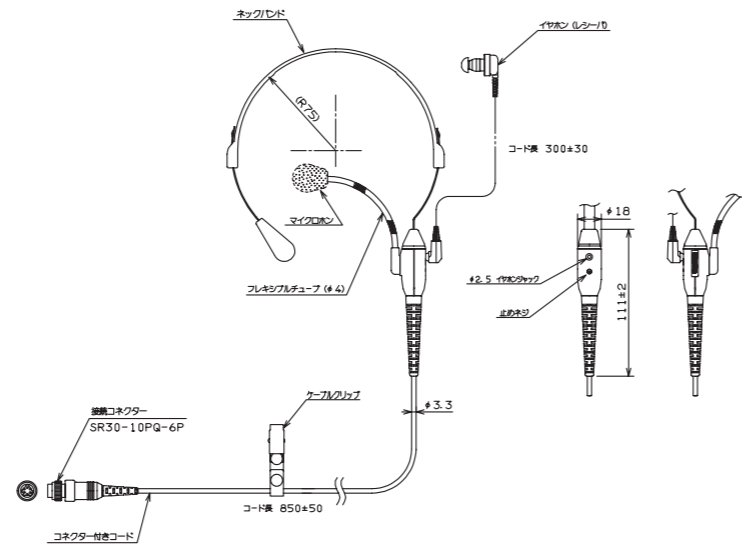


ヘッドセット HS-316C



仕様 (HS-316C)

マイクロホン部(コンデンサ型)

インピーダンス	1.6kΩ±30%
感度	-73.0dB±4dB at 1kHz (0dB = 1V/0.5Pa)
周波数特性	100Hz~10kHz

レシーバ部

インピーダンス	300Ω(コード抵抗含む)
定格入力	10mW
最大許容入力	300mW
出力音圧レベル	121dB at 1kHz(0dB = 2×10 ⁻⁵ Pa)
周波数特性	100Hz ~ 3.5kHz

※子機専用ヘッドセットとなります

HS-126D



仕様 (HS-126D)

マイクロホン部(ダイナミック型)

インピーダンス	200Ω±20% at 1kHz
インダクタンス	1.96mH±10%以内
直流抵抗	190Ω±10%以内
感度	-86dB±4dB at 1kHz (0dB = 1V/0.1Pa)
周波数特性	100Hz~7kHz -10dB以内

レシーバ部

インピーダンス	8Ω±15%以内
インダクタンス	0.045mH±10%以内
直流抵抗	7.7Ω±10%以内
最大許容入力	500mW
出力音圧レベル	112dB±4dB at 1kHz (0dB=2×10 ⁻⁵ Pa)
周波数特性	50Hz~5kHz -20dB以内

デジタル ワイヤレス インターカム システム概要

- 1 主装置-親機間、親機-親機間はマイクケーブル 1 本で接続
主装置-親機間、親機-親機間は最大 150m (推奨ケーブル: カナレ L-4E5C)
- 2 主装置内の CS コントロールユニット 1 台に対し、親機は 4 台までカスケード接続可能
主装置 1 台に対して CS コントロールユニットは 4 台まで実装可能
(主装置 1 台に対して親機 5 台以上を接続する場合は電源盤 (YPL-1800A) が必要になります)
- 3 親機 1 台に対して子機 4 台まで通話可能
- 4 主装置 1 台で子機を 2 グループに分けて使用可能 (YFF-1870)
- 5 受令モードでの子機使用台数は制限なし
(但し、受令モードで子機を使用する場合は、使用できる子機の台数が 1 台減ります)

ハンドオーバー動作

通話エリアを拡張したい場合、子機の設定によりハンドオーバー設定を行なうことができます
[ハンドオーバー: 子機が接続する親機を自動で切り替えること]

